

# 農民

食と農をまもる共同を

発行所 農民運動全国連合会(農民連)

〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11  
社医研センター2階

☎03-5966-2224 FAX03-5966-2226

http://www.nouminren.ne.jp/

E-mail:shinbun@nouminren.ne.jp

毎週月曜日発行 定価月550円 1部140円(送料別)

会員の購読料は会費に含まれています

## 自給率アップと安全な食料で 子どもたちの健康守りたい



「食料・農業・農村基本法」改定の国会審議が始まりました。今回の改定で国民が一番注目したのは、ウクライナ危機や新型コロナウイルス禍、異常気象、円安などで食料への不安が高まるなか、「食料自給率38%をどうやって上げるのか、食料安全保障をどうするのか」という課題でした。

ところが、改定案は、緊急時の食料調達法案は入りましたが、平時の食料自給率アップの課題から逃げてしまい、食料や肥料の原料はこれまで通り7割〜9割を海外から調



第1回

茨城 常陸農業協同組合

組合長 秋山 豊さん

日本の種子を守る会長  
全国オーガニック給食協議会副代表理事

### 課題から逃げた改定案

「食料・農業・農村基本法」改定の国会審議が始まりました。今回の改定で国民が一番注目したのは、ウクライナ危機や新型コロナウイルス禍、異常気象、円安などで食料への不安が高まるなか、「食料自給率38%をどうやって上げるのか、食料安全保障をどうするのか」という課題でした。

ことがどれだけ大事かわかると思います。待ったなしの農業担い手対策

改定案の問題点の2つめは、農業の担い手対策が何らとられていないことです。高齢化や担い手不足、農業資材、雇用労賃の高騰などで全ての農家で経営が厳しく、現場の生産力が落ちています。そこには手を打たず、

大・中・小規模、中山間部、離島の農家を支援し、多様な担い手を育成しなければなりません。有機給食を広げ

自給率を上げるためには、種子の問題が重要です。農家が自由に採種し、増殖できなければ、輸入された農薬まみれの遺伝子組み換え大豆やトウモロコシばかりになってしまい、結局は自給率が下がることになってしまいます。改定案にも種子の問題を盛り込んでほしいと要望しています。今回の改定案は、食料不安の課題を一切解決していません。食料自給率の目標を設定し、国内生産の増大をめざすことが必要です。改定案を根本的に変えるためにも、農家、消費者などの国民的な共同を広げ、大きな運動を展開したいと願っています。

調達する政策です。食の未来は昆虫食や人工肉など食品産業のもうけの道具になってしまったと言っても過言ではありません。2011年の福島第一原発事故です。双方とも1週間ほど電気と水が使え

た。1999年の東海村JCO臨界事故、そして2011年の福島第一原発事故です。双方とも1週間ほど電気と水が使え

金のかかるスマート農業や輸出を進める。法人などの経営が主体で、持久力のある家族経営は邪魔だと囃わんばかりです。

農産物の「消費者が選択できるように情報を提供する」と強調し、最終的には政府ではなく消費者任せの姿勢をあらわにしました。

高知 田植えが始まる

南国市 撮影・中越吉正さん(高知県農民連)



### 食料・農業・農村基本法 改定案が国会審議入り

農政の憲法とも位置付けられる「食料・農業・農村基本法」の改定案が3月26日、国会で審議入りしました。

この日は岸田文雄首相も出席し、衆議院本会議で坂本哲志農水大臣から法案の趣旨説明が行われ、与野党から岸田首相と坂本農水相に対し質疑が行われました。

自民党の江藤拓議員は質疑で「自民党で1年半かけて議論した改定案」「国内で供給できるもの

が「生産・流通・消費者の必要性を指摘されるのと、かつての戸別所得補償を持ち出し「需要に合わない生産や買いたたき

の恐れがある」と拒否。現行の収入保険と生産性の向上しか対策を述べず、「価格は上昇傾向にある」と岸田首相はすり

### 国の責任放棄の姿勢鮮明に

はできるだけ生産するものとなっている」と自画自賛。しかし次々とボロが出ました。首相や農水大臣

する」としたのに対し、日本共産党の田村貴昭議員が「どれくらいの価格が妥当だと考えるのか」と具体的に問うと、「政

府の口から言うのは適当ではない」と逃げ腰の答弁です。

複数の議員から価格保障の必要性を指摘されると、かつての戸別所得補償を持ち出し「需要に合わない生産や買いたたき

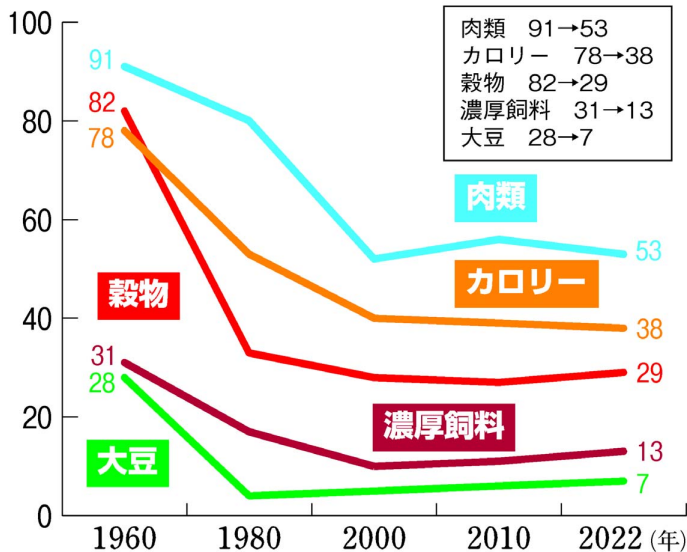
また、持続可能な生産物を「消費者が選択できるように情報を提供する」と強調し、最終的には政府ではなく消費者任せの姿勢をあらわにしました。

# これでいいの!?

# 農業基本法

# 改定案

図① 無残なまでに低下した食料自給率 (%)



食料・農業・農村基本法の改定案の審議が国会で始まり、気候危機やウクライナ・ガザ侵攻のなかで国連が「戦後最大の食料危機」を宣言する状況のもと、これで日本の食料自給率は向上し、食と農の危機は打開できるのでしょうか。

# 食料自給率向上切り捨て

# この道は飢餓への道

## ① 食料自給率向上の放棄

改定案の最大の焦点は食料自給率の向上です。自民党政権が農産物輸入自由化を次々に進めてきた結果、食料自給率は無残なまでに低下してきました。

しかし、基本法改定案はまったく反省なし。それどころか、「食料自給率の目

図② 食料自給力指標 (いも類中心) の食事メニュー例

※再生利用可能な荒廃農地においても作付けする場合

朝食	食パン1/2枚	焼きいも2本	サラダ2皿	りんご1/6個
昼食	焼きいも2本	粉吹きいも1皿	野菜炒め2皿	
夕食	ご飯1杯	粉吹きいも1皿	浅漬け1皿	焼き魚1切

+

4日にコップ1杯	1カ月に1個	21日に1皿
牛乳	卵	焼肉

①「自給率目標」をいろいろある指標の一つに格下げして二の次、三の次

日本の食料自給率は世界

最低水準。

国民が命を保持するうえで必要なカロリー自給

率は名目上38%ですが、農業生産に必要な肥料、飼料、野菜の種子、石油の90

## ② “イザという時は、1日イモ3食”?

② 自給率向上を政府の目標にする

「指針」ではなく、国民の努力すべき課題にすりかえる

「割り当て・配給」を押しつける



田植えの季節。生産の喜びを実感できる農政に

「特に深刻な段階」では、カロリー重視の生産転換(イモ、米)を生産者に指示し、従わないと20万円以下の罰金。加工・流通業者も取り締まる流通統制、配給制度も実施。岸田政権が進める「競争をする国づくり」と軌を一にした、「いざというときは農家にイモを強制的に作らせ、国民はイモを食べて飢餓に耐える」という「戦時食料法」そのものです。

# 農民連

農民運動全国連合会(農民連)

〒173-0025東京都板橋区熊野町47-11 社医研センター2階

☎ 03(5966)2224 FAX 03(5966)2226

http://www.nouminren.ne.jp/ E-mail:info@nouminren.ne.jp

# 今こそ食料の増産を

## 食と農の再生に役立つ基本法に

### ③ 食料輸入大国日本、さらに輸入拡大——一方で「食品輸出」?

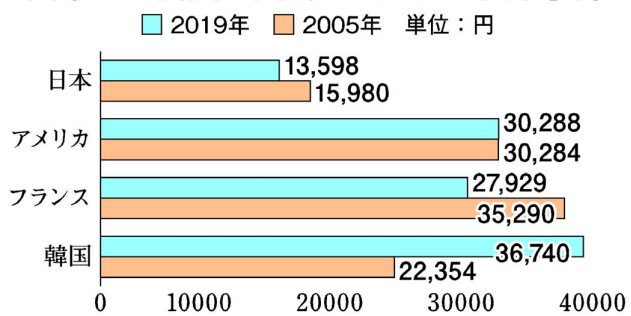
現行基本法は、「国内の農業生産の増大を図ることを基本とし、これと輸入及び備蓄とを適切に組み合わせ」としながらも、国内農産物の増産をさぼり、輸入拡大と自由化を続けてきました。

改定案は、「安定的な輸入の確保」という条文をわざわざ新設し、輸入をさらに増やすため、輸入相手国への投資と支援を促進することまでうたっています。

政府は「農林水産物輸出額が1兆円突破」と騒いでいますが、輸入農林水産物の総額は13兆円とケタ違いです。いざという時は、輸

出農産物を食べると言われても、まったく頼りにはなりません。

図③ 主要国の国民1人あたり農業予算



農水省「主要国の農業関連主要指標」(22年1月、09年3月)から作成  
アメリカは低所得者向け食料支援(SNAP)予算を含む

### ④ 新規就農支援は待ったなし——だけど対策はゼロ

農家の高齢化が進み、日本の農の担い手は59歳以下が24万人(20%)、一方、75歳以上は42万人。しかも農家の7割は後継者不在です。新規就農支援は待ったなしの課題です。

政府は「今後20年間で、農の担い手は現在の120万人から30万人に減り、農と食の持続性を確保できなくなる」と言いながら、若い担い手確保対策は放ったらかしです。

改定案が示している政府の対策は①農民のかわりにロボットやドローン、AI(人工知能)を使う「ロボット農業」での②国

### ⑤ 価格保障・直接所得補償の充実を

農の危機、担い手不足を打開するうえで、生産コストに見合う価格を実現することはキーポイントです。

しかし、平均的な稲作農民の時給は、なんと「10円」(表)です。

「食料自給率向上を求むる署名」にぜひご協力ください。

表 稲作農家の時給 なんと10円

	20年	21年	22年
年間農業所得(円)	179,000	10,000	10,000
時給(円)	181	10	10
経営面積(㌦)	2.4	2.5	2.8

農水省「営農類型別農業経営統計」(全農業経営体)

1日1〜2食しか食べられない人々の増加や物価高騰を直視し、農民連は「価格保障+価格転嫁+直接所得補償+公共調達」の4点

セットを提起し、農村で暮らしている所得を国が保障することを要求しています。

「食料自給率向上を求むる署名」にぜひご協力ください。



食料自給率向上を求むる署名の提出集会 3月13日



署名用紙はココから

### ⑥ 食料自給率向上署名を広げて、食と農の再生に役立つ基本法に

——農民連は呼びかけます——

「基本法改定のおとで、基本計画で具

私たちが、政府の改定案を廃止し、国民と野党の共同、消費者と生産者の連帯を強めて、真に明日の食料・農業・農村の再生に役立つ基本法を求めます。食料の増産に足を踏み出すため、大軍拡をやめ、諸外国に比べて極端に低い農業予算の倍増を要求します(図④)。

「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める署名」にぜひご協力ください。

★国民と手を結び、多様な販路を生かして生産を守る農民連。高性能な機器を持つ「食品分析センター」を備えています。  
★農民と国民の目線で毎週、農業・食料情報を発信。新聞「農民」を発行しています。  
農家なら誰でも農民連に加入できます。



# 農業基本法改定で

## F F P J が院内集会

国連の「家族農業の10年」に沿った農林漁業政策の実現に向けて活動している「家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(F F P J)」は3月14日、食料・農業・農村基本法改定に際して院内集会を開きました。

### 十分な議論が もつとも重大

2月27日に閣議決定された同法改定案の問題点を明らかにし、小規模・家族農業が豊かになる改正に向けた運動をつくることを目的に開催。

三重県の農家でF F P J代表の村上真平さんは改定案について「農民がほぼ関わることなくつくられた」と批判。「農業では生活していけない、将来に希望が持てない状況に国が置いている中で、小手先で『稼げる農業』を掲げても全く持続可能ではない」と政府の根本姿勢に異議を唱えました。

村上さんは政府が一番考えないといけないのは、1961年の旧基本法制定時にかじを切った「選択的拡大」への反省・検証だと主張。「耕

# 農業の現場 国民の声を聞け!

(右上から時計回りに) 村上代表、池上さん、高橋さん、國母さん、下山さん、斎藤さん、額さん、玉山さん



だ」とし、期限ありきで不透明な決定過程を問題視しました。

また担い手像の位置づけとして、改定案の「効果的かつ安定的な農業経営を営む者」、「多様な農業者」について言及。「農業政策の対象の位置づけがよく分からない」「経営体概念からの脱却が必要不可欠だ」と強調。

「抽象性と個性が同居して、全体像が見えない改正案になっている」と述べました。

地域の実情を知らないのでは

生産者や消費者が「農村と都市の生活者の視点から」

種と畜産部門を切り離し、単独・大規模化を国として推し進めた結果を全く見ていない」と指摘しました。

池上甲一F F P J常務理事(近畿大学名誉教授)が新農業基本法の問題点について講演。池上さんは「国民合意に向けた十分な議論が担保できていないことが最も重大

## 法案の撤回と再構築を

兵庫県丹波篠山市で夫婦で農業を営む玉山とよさんは、「農水省や政策立案者こそその状況が分かっているのか」と危機感を表明。米を作っても食べていけない状況の中で「多

角化・コスト削減・スマート農業の導入などで、農家自身が差別化・個性化で稼げるようにして、と言われてもできるわけがないやん!」と地域の実情をふまえて訴えました。

あいこープみやぎの高橋千佳理事長は、「食と農に関する問題は組合員の関心が最も高い」と発言。あいこープとして「援農活動」や「地域循環型農業の推進」に取り組む中で、「小さな単位でも地域で農業を営める政策に税金を使ってほしい」と訴えました。

戦争国家への道  
抱き合わせるな

栃木農林連の國母克行会長は、「環境に配慮した農業や脱炭素社会を唱えながら、『輸入に頼る』『輸出で稼げ』というのは矛盾している」と指摘。「アグロエコロジーや真の有機農業がこれからの方向性を示すなら

べきと強調。政府が言う「食料安全保障」は、有事の際の食料確保を念頭に置いているとし、「戦争する国づくりを進める動きに新農業法が絡め取られている」と強い危機感を示しました。

農民目線の改定  
一緒に考えたい

全国有機農業推進協議会の下山久信理事長(千葉県成田市の農家)は「改定案は国民のためにどうするのかという理念がない」と指摘し、「国の政策の失敗で人や農地をだめにした総括がない! 継続審議にしないといけない!」と怒りを込めました。

茨城県阿見町で家族農園を営む斎藤博嗣さん(F F P J常務理事)は、「大規模化や省力化に向かう国の政策には、中山間地の田んぼでは応えられない。国土保全の観点からも兼業・家族経営を認めて育てていくべきだ」という地元紙に掲載された農家の声を紹介し、「改定案で考えるべきはこの視点だ」と主張。「農家主体」で「農民目線」の改定を農水省とも一緒に考えたい」とまとめた。

家族農業こそ  
生産性が高い

日本消費者連盟の額綱(こうけつ)美千世事務局長は改定案の第1章の目的に、「自給率の向上を図ること」を明示する

の国会議員が連帯あいさつをしました。会場で発言を聞いていた国会議員からの「短い国会質疑時間の中で、有益な答弁を得るにはどんな問い立てが必要か」との質問に対し、愛知学院大学の関根住恵教授(F F P J常務理事)は「農業の生産性の測り方をぜひ質問して

ほしい。労働生産性や土地生産性が政府の視点だが、社会的生産性や資源エネルギー生産性といった指標が確立されれば、農場内や里山の資源を用いる農業をはじめとする小規模・家族農業こそ生産性が高いことが共有できるはずですよ」と答えます。

内集会的様子はF F P Jのホームページ、ユーチューブで見ることができます。

【応募方法】解けたら二重マスのAから始まる6文字を組み合わせて送ってください。

正解者の中から10人の方に図書カードを進呈します。はがきに、氏名、郵便番号、住所、電話番号、感想や近況、(入っていただければ)組織名をお書き下さい。なおファクス、メールでも応募できます。

【送る先】〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11 社医研セン  
タ12階 農民連クイズ係 Fax 03-(596)2226 メール shibun@nominren.ne.jp

## 動物クイズ

【ヒント】アメリカ南部に生息し、湿った場所を好み、泳ぎます

ヨロのカギ

- ① 建物の上にある、雨や雪を防ぐおおい
- ② 人や動物の、口やあごのまわりに生える毛
- ③ 商工業などの事業を営んでいる人、「運送」
- ④ 要求されること、またその要求
- ⑤ 相撲部屋独特の鍋料理
- ⑥ 細長い管の形の、畑で作る辛味のある野菜
- ⑦ 首・手足・しっぽ以外の体の部分
- ⑧ 一日単位の契約で人を雇うこと
- ⑨ 前もって必要な費用を見積もること、「〇〇〇〇」
- ⑩ 寒い夜、水蒸気が地面に白くこおり付いた物
- ⑪ 値段が安く品質の劣る物、「〇〇〇〇」
- ⑫ 軸を中心にして

タテのカギ

- ① 大勢が一度に乗ることができる乗台自動車
- ② 大きな丸い緑色の果物です、甘くておいしく
- ③ 足付け根からひさま
- ④ 一面に芝の生えているところ
- ⑤ 年を取った女性、老女
- ⑥ 糸を縦・横に組み合わせ、織ったもの
- ⑦ 思ったことや感じたことを文字で書き表す
- ⑧ 大勢が一度に乗ることができる乗台自動車
- ⑨ 大きな丸い緑色の果物です、甘くておいしく
- ⑩ 足付け根からひさま
- ⑪ 一面に芝の生えているところ
- ⑫ 年を取った女性、老女
- ⑬ 糸を縦・横に組み合わせ、織ったもの
- ⑭ 思ったことや感じたことを文字で書き表す

